

報道機関各社様

市)広報課(全2枚)

報道機関各社様

平成20年(2008年)6月30日

「札幌遠友塾」に対する学校教室の試行使用の提案について

札幌市教育委員会では、平成20年6月30日(月)、札幌遠友塾自主夜間中学に対して、夏休み期間における学校教室の試行使用を提案いたしました。

今回の提案は、遠友塾の活動場所に関する話し合いの中で受講生の方から寄せられた「学校の教室で一層授業を履けてみたい」という思いを実現するとともに、遠友塾の要望である学校教室の長期的な使用に向けた課題を整理し、検討するためのものです。

候補とした3校は、遠友塾が求める「大通駅を基点に4駅以内の範囲で駅から近い場所」という地理的条件に該当する学校の中から、教室の配置や大きさなどを考慮のうえ選定いたしました。各校とも複数回の使用が可能です。

教育委員会では、試行の結果を参考にしながら、今回の3校に限らず、学校教室の長期的な使用に向けて、引き続き遠友塾と協議を続けていきたいと考えています。

【使用候補校】

別紙のとおり

【これまでの経過】

別紙のとおり

【問い合わせ先】

札幌市教育委員会生涯学習部

生涯学習推進課長 岩井 英喜 氏

生涯学習推進課主査(調整) 中 克 博

Tel 011-211-3872

※ 候補となっている学校への本件に関する問い合わせはご遠慮下さい。

【試行使用の候補校】

学校名	所在地	使用部屋	主な特徴
資生館小学校	中) 南3西7	5階 ランチルーム	・バリアフリー ・エレベーター設置
白楊小学校	北) 北24西7	3階 多目的室	・夜間利用可
向陵中学校	中) 北4西28	2階 普通教室(複数)	・夜間利用可

※ これらの学校はあくまで試行的な使用の候補校であり、これらの中から長期的な使用校を絞り込むわけではありません。

【これまでの経過】

平成18年5月 市民会館の閉館に伴う代替の活動場所として、教育文化会館と生涯学習センター(ちえりあ)を斡旋

19年2月 遠友塾の要望に応じて、教育文化会館の使用料減免(半額)を決定するとともに、学校使用に関する具体的な条件の提示を求める

4月 教育文化会館における遠友塾の活動がスタート

8月 遠友塾から地理的要件など学校使用に関する具体的な条件の提示を受ける

20年3月 提示された条件に基づき学校の調査結果を代表ほかに回答

5月 3月の回答内容を改めて受講生等に伝達するとともに、学校休業時の試行的な使用を提案

6月 夏休み期間の試行的使用の具体的候補校を提案【今回】